

# 平成30年度 事業所職員による自己評価の結果

公表：平成31年3月26日

事業所名：こども発達支援室STEP

職員数:6, 回収数:6, 回収率:100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	0	0	もう少し広いと、保護者の方が見やすかったり、より柔軟な使い方ができるのでは、と考えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	3	0	0	職員の離職により、余裕のない配置であった時期もありました。今後、余裕をもった配置ができるよう、継続的に職員数は検討していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	5	0	子ども用のトイレが無い、段差が多い等、環境面については至らない点が多くあり、改善していくべき点です。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	0	週1回、支援会議を実施し、記録等にもとづいた振り返り・次週の対応方法の検討等について、話し合いを行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	4	0	2	事業の自己評価及び保護者評価は今回が初めての実施となります。今後、評価結果を踏まえた業務の改善を進めてまいります。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	4	0	2	事業の自己評価及び保護者評価は今回が初めての実施となります。今後、評価結果を踏まえた改善を進め、その結果を公開してまいります。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	1	0	第三者評価は実施できておりません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	0	全職員が年1回以上参加できるよう、調整しています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	2	0	0	指導のねらいについてチェックリストで現状を評価する、発達検査や知能検査を実施する、日常生活の様子について保護者の話を聞いたり、必要に応じて直接観察しに行く、といった方法により、ニーズや課題を把握しながら、計画を立てています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	1	1	4	児童によってS-M社会生活能力検査やVinelandを実施することがあるが、ほとんどの児童で実施していません。

平成30年度 事業所職員による自己評価の結果

適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	3	0	0	発達支援(本人支援)だけにならないよう、家族支援や地域支援にも配慮しながら、極力必要な項目を挙げ、支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	2	0	0	一定時間経過ごとに計画を見返し、ズレが生じている場合には計画を変更したり、支援内容を見直すなどしています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	0	主担当であるMT(MainTeacher)が話し合い、立案しています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	0	年間予定や月案を作成し、計画的に行うよう配慮しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5	1	0	0	通園指導(集団指導)と個別指導を併用している児童の場合、それぞれの指導場面のねらいを分けたり、共通させる等して、ねらいに合わせた場面づくりに配慮しています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0	朝礼で役割分担等について確認するとともに、集団活動でのねらい・細かい流れなどについて、それぞれ担当者の時間が合う時に共有できるようにしています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	0	記録を書く時間の中で、様子を話し合い、職員間で擦り合わせ、共有し、直近の指導につなげるようにしています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0	行動的に(具体的に)、簡潔に記述する練習を行っています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	0	0	おおよそ6ヶ月に1回行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	0	全児童の様子について把握している心理発達専門員が担当しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	0	0	保護者の同意を得て、保健センターから発達の経過について情報を得たり、事業所の空き状況について、担当の保健師に伝える等しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	6	0	現在のところ、受け入れ実績がありません。受け入れた場合、今後検討していきたいと思います。

平成30年度 事業所職員による自己評価の結果

関係機関や保護者との連携・保護者への説明責任等	⑳	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	6	0	現在のところ受け入れ実績がありませんが、実際に受け入れる場合は、主治医の先生と連携がとれるよう、配慮します。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	4	0	0	情報提供書を作成し保護者の方経由でお渡しして情報共有を図ったり、移行先に担当者が訪問してし合いの場を持つ、移行後に依頼があれば話し合いの場を持つ等しています。
	㉒	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	0	0	就学に際して、特別支援学校に対しては書面・会議で情報共有を行っています。小学校入学予定の場合、保護者の方のご依頼に基づき、情報提供書を作成したり情報共有する等して市教育委員会と連携を図っています。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	0	茨城県発達障害者支援センターが行う研修に参加したり、他事業所を訪問し指導の様子を拝見する等しています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	0	系列の保育所・幼稚園に訪問し、児童と触れ合う機会を持ちますが、十分な機会が確保できていないため、今後の課題です。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	5	1	0	人員配置に余裕が無く、参加できていないことが多いです。今後参加できるよう、職員を配置していきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0	個別指導実施時に、指導での様子・今後伸ばしていきたい課題・ご家庭でご配慮いただきたいこと等についてお話をする時間をもっています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	0	6	0	現在のところ、実施できておりません。平成31年度中に、何らかの形で実施したいと考えています。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	0	0	5	保護者の方とご一緒に書面を読み上げゆっくり確認しながら、丁寧に説明することを心掛けています。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	1	0	0	5	児童発達支援ガイドラインを示しながら説明していませんが、ガイドラインに基づいて作成すること、根拠となる項目番号を計画に記載すること、等に配慮するとともに、ご説明の上で、同意を得る(ご署名・印鑑をいただく)ようにしています。
㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	0	指導後の保護者との話や、定期的な保護者面談の場等で、子育てや保護者の方自身の心配事等の話を聞く時間を持ち、親子の相互作用が好循環になるよう、配慮しています。	
㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	4	0	職員が保護者間のコミュニケーションの橋渡しを行い、保護者で集まる機会がもてるよう配慮したり、保護者同士が自然に顔合わせする機会ができるようにする等して、保護者同士の交流を少しずつ促しています。	

平成30年度 事業所職員による自己評価の結果

	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	5	0	0	苦情対応の窓口を明示する、意見箱を設置する等して体制を整備するとともに、申し入れがあった場合は速やかに話し場の持ち、対応方法を検討するようにしています。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1	0	通園指導では、年間予定、月だより、月予定表などを随時作成し、利用者の方に配布しています。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1	0	0	鍵付きキャビネットに書類をしまう、多くの目に触れる場所ではインシヤルで情報の掲示・共有を行う、といったことに注意しています。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	4	0	0	個々の方に合わせた説明のしかた(一度にたくさん伝えない、図や文字を示しながら説明するなど)に配慮し、コミュニケーションが十分にとれるように努めています。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	0	所で行う行事は、クリスマス会・卒園式の2つですが、施設スペースの関係からも、どちらも地域住民の方を招待する等は出来ておりません。今後、広いスペースでよりオープンな行事を行うことが出来れば、と考えています。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2	1	0	感染症対応は厚労省のガイドラインを参考にしています。防犯マニュアルは未作成ですが、系列の保育園との情報共有・応援要請を行い、対応することとしています。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	0	通園指導においては、年2回、避難訓練を実施しています。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	0	2	0	4	お子さんの体調面・入院歴等については、利用開始時及び年度頭に保護者の方に文書及び口頭で確認しています。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	0	アレルギーの有無については、利用開始時及び年度頭に保護者の方に文書及び口頭で確認したり、連絡帳を活用し、適切な対応の徹底を図っています。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	0	6	0	会議や朝礼等の場で、口頭で事例を共有したりしていますが、事例集等の書類は作成できておりません。今後徹底してまいります。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	0	虐待防止に関する研修機会を所内で設け、適切な対応について周知しています。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	0	0	4	当所では現在のところ、身体拘束を行う可能性を検討・計画したことはありません。今後やむをえずそうした対応を行う必要がある場合、会議等の場で組織的に決定すること、事前に保護者に十分に説明を行い、了解を得ることとします。